

愛別消防 119だより

統一防火標語
『ひとつずついいね！で確認 火の用心』

大雪消防組合 愛別消防署
令和2年4月1日 発行

春の火災予防運動

【実施期間：令和2年4月20日（月）から4月30日（木）まで】

住宅を火災から守る

あなたの家の対策は万全ですか？
大切な命を守るためにチェックしてみましょう！



チェック✓

住宅用火災警報器の維持管理は、ばっちり



住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れで火災を感知しなくなることがあります。10年を目安に交換しましょう。
また、10年が経過していないものでも定期的に点検を実施しましょう。

※住宅用火災警報器は、寝室・階段（2階以上に寝室がある場合）
必要です。

チェック✓

消火器の設置は、ばっちり



火災を初期段階で消すことで、被害を最小限に抑えることができます。
こんろから少し離れた、取りやすいところに置きましょう。

※個人住宅に消火器の法的な設置義務はありませんが、初期の火災では有効な効果があります。あなたの大切な家族の生命、身体、財産を守るため、万が一の備えに住宅用消火器の設置をおすすめします。

チェック✓

防災品の使用は、ばっちり

火災は布などの繊維製品に燃え移って拡大することがあります。カーテンや仏壇マット、エプロンなどは防災製品を使用しましょう。



火事・救急・救助は **119** 防火の相談は **6-5509**

愛別消防 119だより

統一防火標語
『ひとつずついいね！で確認 火の用心』

大雪消防組合 愛別消防署
令和2年4月20日 発行

春の火災予防運動実施中

【実施期間：令和2年4月20日（月）から4月30日（木）まで】

事業所の皆さん、こんな火災に注意して下さい！！

チェック✓

こんろを使用中にその場を離れて他の作業などしていませんか？

こんろを点火したまま放置・消し忘れ等による出火が後を絶ちません！

【対策】

1. ちょっとの時間でもその場を離れる時は、**必ず火を止める。**
2. 出かける際に、必ず火の元を確認する。
3. **安全装置付きの機器**（※）を使用する。
（※天ぷら油加熱防止装置・消し忘れ自動消火機能）
4. こんろ上、周囲は整理整頓して**燃えやすい物を置かない。**



チェック✓

放火されにくい環境づくりをしていますか？

放火による火災は例年火災原因の上位です。放火は事業所の対策によって防ぐことも可能です。

【対策】

1. 死角となりやすい場所に**可燃物を置かない。**
2. 物置、倉庫などには**鍵を掛ける。**
3. 監視カメラを設置したり、巡回監視を実施する。



重要!

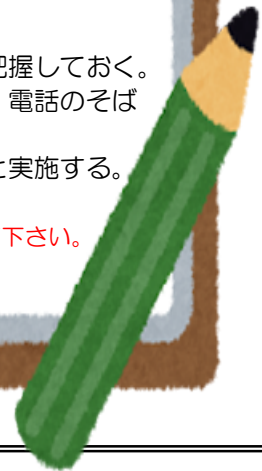
早い消火、通報、避難を！

もし火災が発生してしまったら、早い**消火・通報（119番）・避難（誘導）**を心がけましょう。あわてず落ち着いて行動するには、日頃から、役割分担の把握や繰り返し訓練が大切です。

【対策】

1. 消火器や屋内消火栓等の使用方法、設置場所を従業員全員が把握しておく。
2. 正確に通報できるよう、住所、目標となる建物などを把握し、電話のそばに貼っておく。
3. 火災になった場合の役割分担を明確にし、消防訓練をきちんと実施する。

※火災が拡大し炎が天井に達する場合は、消火を中止して避難を優先して下さい。



火事・救急・救助は **119** 防火の相談は **6-5509**

危安協だより

春の火災予防運動実施中！

愛別町危険物安全協会

令和2年4月20日 発行

危険物安全週間推進標語

『 訓練で 確かな信頼 積み重ね 』

ポイント

ガソリン携行缶を安全・安心に使う5つのポイント

1

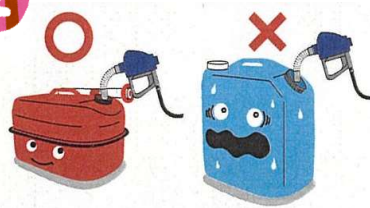


ガソリンの危険性について

ガソリンは気温が-40℃でも気化し、小さな加温でも引火し、爆発的に延焼する物質です。

(軽油は+40℃で気化します。)

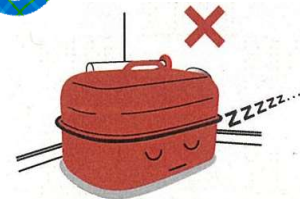
2



ガソリンを入れる容器について

ガソリンを入れる容器は、消防法令により一定の強度のある素材を使用することと、容量が制限されています。特に灯油用ポリエチレン缶にガソリンを入れることは非常に危険ですのでやめましょう。

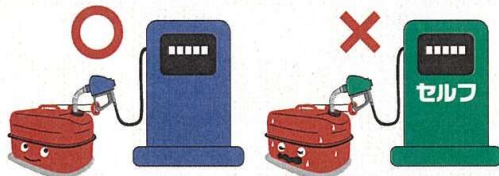
3



ガソリンの保管について

ガソリンは、揮発性が極めて高く、火災が発生すると爆発的に広がるので、ガソリンを容器に入れて保管することは極力控えてください。

4



ガソリンの購入について

ガソリンの購入は、消防法令の基準に適合した容器でガソリンスタンドで購入して下さい。

(セルフスタンドでは、利用者が自らガソリンを容器に入れることはできません。)

5



ガソリン携行缶の取扱いについて

パッキンの劣化、キャップの締め方の不備等、注入口からの漏れによる危険物の漏洩事故の報告がありますので、使用時には取扱説明書をよく読み、適切な取扱いをしてください。

火事・救急・救助は **119** 防火の相談は **6-5509**